

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成13年5月14日 第7報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	1100		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	22		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion conicum</i>	10		
(黄鞭) <i>Chromulina sp.</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima</i>	150		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	80		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	230		
(珪) <i>Attheya Zachariasii</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	53		
(珪) <i>Synedra acus</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	60		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	40		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	40		
(緑) <i>Dichotomococcus curvatus</i>	220		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	10		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	13		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	22		
(他) <i>Tetraselmis cordiformis</i>	10		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1142	52.9	20.5
(珪) 珪藻綱	603	27.9	19.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	100	4.6	6.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	305	14.1	48.6
(他) その他のプランクトン	10	0.5	4.6
総細胞数	2160	総体積	1.72E+06
種類数	19	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は \*が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 動物プランクトン

第1優占種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	1100

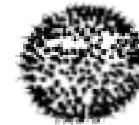
第2優占種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Synchaeta oblonga</i>	460

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

### 植物プランクトン第1優占種

*Uroglena americana*  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に  
規則正しく配列し、球状の群体を形成する。  
各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。



### 動物プランクトン第1優占種

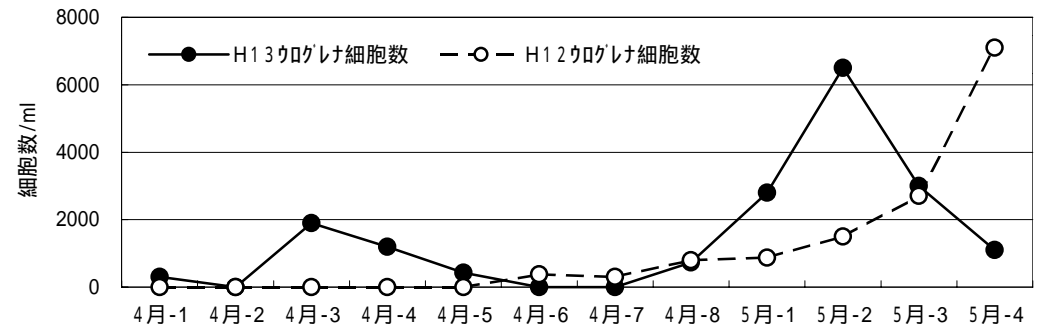
*Polyarthra vulgaris*  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が  
4ヶ所付いている。  
前部に2本の触角がある。



### コメント:

植物プランクトンは引きつぎウログレナ アメリカーナが優占種となったが、細胞数としてはここ数日減少傾向にある。昨年度のウログレナ出現の状況と比べると、今年度は増加の立ち上がりが早く見られた。



平成12, 13年4月からのウログレナ細胞数の変動